



2022年8月
第10号



脆弱性の対策情報について

ソフトウェア製品などに脆弱性が発見されると、製品開発者は脆弱性の対策として、ソフトウェア製品のバージョンアップやパッチと呼ばれる修正プログラムを作成し公開しますので、製品利用者は、公開された新たなソフトウェアや修正プログラムを適用する必要があります。このような脆弱性に関する対策情報が公開されているサイトをご紹介します。

JVN (Japan Vulnerability Notes)

IPA※1とJPCERT/CC※2が共同運営する脆弱性対策情報ポータルサイトです。

国内外の製品の脆弱性情報を幅広く取り扱っています。

掲載されている対策情報は、その製品を開発・提供している製品開発者によって提供された信頼性の高い情報ばかりです。海外の公的機関とも連携し、国際的な活動による脆弱性情報も掲載しています。 [【https://jvn.jp/】](https://jvn.jp/)



※1: 独立行政法人 情報処理推進機構 ※2: 一般社団法人 JPCERTコーディネーションセンター

JVN iPedia

国内向けソフトウェアの脆弱性に関する概要や対策の情報を蓄積した、脆弱性対策情報データベースです。

「特定の製品に存在する脆弱性を確認したい」「公開情報をもとに脆弱性対策を調べたい」など、入手したい情報が特定されている場合に、検索機能によって効果的に検索することが可能です。 [【https://jvndb.jvn.jp/】](https://jvndb.jvn.jp/)



出典：警察庁サイバー犯罪対策プロジェクト https://www.npa.go.jp/cyber/kanminboard/siryou/sec_hole/vuln_solution.html

今回紹介したサイトだけで**全ての脆弱性対策情報を網羅できるわけではありませんが**、脆弱性対策の一環として**情報収集を習慣化**していただき、被害の防止や軽減に役立っていただければと思います。

Twitter



@IP_cybertaisaku

石川県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課



076-225-0110



cyber@police.pref.ishikawa.lg.jp

Instagram



IP_cybertaisaku